

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2003-191404 (P2003-191404A)

【公開日】平成 15 年 7 月 8 日 (2003.7.8)

【出願番号】特願 2002-269823 (P2002-269823)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 129/04 (2006.01)

C 0 9 D 171/02 (2006.01)

C 0 9 D 183/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 1 0 2

C 0 8 J 7/04 C E R P

C 0 8 J 7/04 C E Z

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 129/04

C 0 9 D 171/02

C 0 9 D 183/00

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 2 日 (2006.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 熱可塑性樹脂フィルムよりなる基材層と珪素アルコキシドの加水分解物、層状珪酸塩及びポリビニルアルコール系樹脂よりなるガスバリア層とを含む積層体であって、上記ガスバリア層における光散乱により測定した散乱体の回転半径 (R_g) が 2 . 4 μm 以下であり、且つ該ガスバリア層に存在する層状珪酸塩の層間に珪素アルコキシド及び / 又はその加水分解物が存在することを特徴とするガスバリア性フィルム。

【請求項 2】 ポリビニルアルコール系樹脂 100 重量部に対して、珪素アルコキシド由来の珪素が、SiO₂ 換算で 90 ~ 500 重量部、層状珪酸塩が 10 ~ 150 重量部の割合でガスバリア層に存在する請求項 1 記載のガスバリア性フィルム。

【請求項 3】 珪素アルコキシド由来の珪素量 (SiO₂ 換算) に対する層状珪酸塩の重量比 (層状珪酸塩 / 珪素アルコキシド由来の珪素量) が 0 . 01 ~ 1 である請求項 1 又は 2 記載のガスバリア性フィルム。

【請求項 4】 ガスバリア層がアンカーコート層を介して基材層と積層された請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のガスバリア性フィルム。

【請求項 5】 ガスバリア層の基材層が積層される面と反対面に、該基材層を構成する熱可塑性樹脂より低融点の熱可塑性樹脂よりなるシール層を含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のガスバリア性フィルム。

【請求項 6】 ガスバリア層が、更にポリエチレンオキシドを含有する請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のガスバリア性フィルム。

【請求項 7】 ポリエチレンオキシドがポリビニルアルコール系樹脂 100 重量部に対して 0.1 ～ 5 重量部の割合でガスバリア層に存在する請求項 6 記載のガスバリア性フィルム。